



中国と日本は、どんな結びつきをもっているの



古代の日本は中国の文化をさかんに取り入れ、今は食べ物・貿易などでの結びつきが中心だよ。

中国は、紀元前から文化が栄えた国で、まわりの国々に大きな影響^{えいきょう}をあたえました。日本へも、米づくり・漢字^{ぶつきょう}・仏教^{じゅがく}・儒学^{かへい}・貨幣など、いろいろなものが伝わってきました。日本が遣隋使^{けんずいし}や遣唐使^{けんとうし}を送ったのも、中国の文化を取り入れたかったからです。一方では、日清戦争、日中戦争などで、両国が戦ったこともありました。

文化での結びつき

私たちが使っている漢字の大部分は、中国から伝わった字か、それを簡単^{かんたん}にした字です。漢字の音読みは、中国語の音からきたものです。音読みが二つ以上あるものは、中国語の音が時代によって変わり、それらが次々に伝わったからです。山水画^{ががく}・書道・雅楽なども、中国からきた文化です。日中国交回復（1972年）後は、昔とは逆に、日本から中国に伝わる文化が多くなりました。

食べ物での結びつき

白菜・大根・にんじん・ごぼう・れんこん・かぶ・なす・きゅうり・ほうれん草・みかん・もも・茶などは、中国から、または中国を通して伝わったものです。近年伝わった野菜は、中国野菜とよばれ、チンゲン菜^{ツァイ}・ター菜^{ツァイ}などは、日本でもつくられています。中国料理店は日本全国にあり、チャーハン・ギョーザ・シューマイ・タンメン・マーボ豆腐^{どうふ}などは、私たちになじみの深い料理です。

貿易での結びつき

日本は、中国に機械機器^{てっこう}・鉄鋼・織物などを輸出し、中国から衣料品・はきもの・魚介類^{ぎょかいりい}・野菜・おもちゃなどを輸入しています。